

境港市民図書館の沿革

- 1954(昭和29)年 8月11日 上道公民館図書室を母体。境港町立図書館が発足。
- 1956(昭和31)年 4月1日 町立図書館を県に移管、「鳥取県立米子図書館境港分館」となる。
5月1日 「鳥取県立米子図書館境港分館」開館。(分館長事務取扱松田勝三)
- 1961(昭和36)年11月1日 上道町1、703番地の旧市役所庁舎2階へ移転。
- 1972(昭和47)年 9月 町名変更により、所在地が湊町1番地となる。
- 1977(昭和52)年 3月 上道町1、580番地に「境港市立図書館」の定礎。
4月1日 同上分館を境港市移管。「境港市立図書館」発足。(館長・畠中弘)
6月1日 「境港市立図書館」が開館。蔵書13,277冊。
- 1983(昭和58)年 6月 月例行事「古文書を読む会」並びに「紙芝居の会」を開始。
- 1984(昭和59)年 3月 「市民一人一冊」の蔵書目標39,000冊到達。
- 1987(昭和62)年 3月 上道町1、552番地に「境港市民図書館」の定礎。
4月1日 「境港市民図書館」発足。旧「境港市立図書館」を分館とする。
6月1日 「境港市民図書館」の開館式を挙げる。
- 1988(昭和63)年 4月1日 地番変更により、所在地が上道町3,000番地となる。
- 1991(平成3)年 12月 蔵書数「市民一人二冊」の77,466冊となる。
- 1995(平成7)年 3月 蔵書数10万冊を超える。
- 1996(平成8)年 4月1日 館長・由永俊治着任。
- 1997(平成9)年 5月 月例行事「絵本とおはなしのへや」(ボランティア)発足。
- 2000(平成12)年 1月 県立図書館とコンピュータのオンライン化実施。
4月1日 館長・池淵勝彦着任。
11月 鳥取県西部地震(10月6日)書架倒壊のため書架取替え工事。
- 2002(平成14)年 4月 市健康対策課と連携して、月例ブックスタート事業開始。
- 2003(平成15)年 2月 電算化に向け、蔵書8万冊のデータベースをTRCに委託作成。
4月1日 館長・甲斐清明着任。「古典文学講座」開講。
- 2005(平成17)年 4月 市子育て支援課と連携して、月例のブックスタートプラス事業開始。
- 2006(平成18)年 4月 電算化処理開始。
- 2007(平成19)年 4月 市内小中学校と市民図書館とのオンライン化スタート。
4月1日 館長・池淵博着任。「文学教養講座」開講。
- 2009(平成21)年 4月 国民の祝日開館開始。
- 2010(平成22)年 4月1日 館長・藤原順宣着任。「原典教養歴史講座」開講。
12月 下水道工事完了。図書館南側駐車禁止。第3駐車場7台分確保。
- 2011(平成23)年 8月 ITシステム更新工事完了。
11月 省エネ改修工事開始。(平成24年3月まで)
- 2012(平成24)年 6月 インターネット閲覧専用パソコン(1台)設置。(本館1階)
- 2015(平成27)年 4月1日 館長・松本敏浩着任。休館日変更と開館時間延長開始。
8月 月例行事「絵本と紙芝居を楽しむ会」(ボランティア)開始。
9月 月例行事「おしゃべりタンポポおはなし会」(ボランティア)開始。
- 2016(平成28)年 1月 月例行事「みんなで楽しく『万葉集』を読もう」開講。
10月26日 館長・松本修一着任。
- 2017(平成29)年10月 分館閉鎖。(解体準備のため)
- 2019(平成31)年 4月1日 館長・嘉賀收司着任
7月 市内公民館4館に図書館分館を設置し貸出開始

- 2019(平成31)年 10月16日 済生会病院への移動図書館開始(毎月2回)
- 11月 誠道幸朋苑デイサービスへの図書館分館設置
- 2020(令和2)年 1月19日 図書交流広場(仮称)についての市民ワークショップ開催
- 2020(令和2)年 4月 市民交流センター(仮称)工事着工
- 4月7日 図書館協議会委員及び図書館職員工事確認会
- 4月14日 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため臨時休館(5月6日まで)
- 9月23日 自衛隊美保基地への移動図書館開始(毎月1回)